

徳島県立中央病院外科部長
がん診療支援センター長



八木 淑之

「答え」 アメリカの有名な女優が、遺伝子診断の結果、乳がんに対する予防的乳房切除術を受けたことを発表し、話題になりました。人類の全遺伝子配列が解明され、遺伝子診断によってがんをはじめ各種疾患に罹患する確率が分かる時代に突入しました。



質問

30代の女性です。最近、第一子を授かりました。私の両親はそれぞれ、すい臓がんと乳がんで治療中ですが、この子が将来、がんにかかる確率はどれくらい分かかりますか。

為は、将来的には短絡的な治療法として位置づけられるほど、医療技術は進歩していくことでしょう。

質問のような、遺伝する確率ははっきりとは言えませんが、一般的な日本人のがん罹患率と死亡率について説明します。国立がん研究センターのがん対策情報センターによると、2011年にがんで死亡した日本人は35万人(男性21万人、女性14万人)で、総死亡者数の約30%を占めました。また、がん診療連携拠点病院などのがん登録者推計値では、08年に新たに診断されたがん患者は75万人(男性44万人、女性31万人)とされています。

生涯にかかる確率は

〈表〉に示したのは、現在0歳の男女が、75歳までにあるいは生涯に、がん罹患するかの死亡する確率です。これによると、生涯に何らかのがんにかかる確率は、男性は53・6%、女性は40・5%となっており、死亡率は40・5%とされており、死亡する確率はその半分以下であるという順です。

がんの部位別累積罹患確率(2005年推計)・累積死亡確率(09年)

部位	男性		女性	
	75歳	生涯	75歳	生涯
全部位	27.8	53.6	11.0	26.1
食道	1.2	1.9	0.7	1.2
胃	6.0	10.9	1.8	4.1
大腸	4.5	8.1	1.3	2.9
肝臓	2.3	3.8	1.3	2.7
胆膵	0.5	1.5	0.4	1.1
膵臓	0.9	1.9	0.9	1.7
肺	3.6	8.6	2.4	6.3
リンパ腫	0.7	1.3	0.3	0.7
白血病	0.4	0.7	0.3	0.6
前立腺	2.9	6.2	0.3	1.4
乳房	—	—	—	—
甲状腺	4.9	6.2	1.0	1.4
骨髄	0.8	1.1	0.2	0.3
卵巣	0.8	1.0	0.1	0.2
子宮体	0.7	1.1	0.3	0.5
子宮頸	—	—	—	—

数字は%。独立行政法人がん研究センターが資料による。75歳までの累積罹患率と死亡率は、75歳までの累積罹患率と死亡率を計算したものである。

高齢者増え、半数が罹患

また、男女ともに75歳までの累積罹患率は、部位にもよりますが生涯累積罹患率の2分の1程度です。つまり、75歳を過ぎてがん罹患し、死亡する人が半数を占めるということです。このようにデータは、がんの予防や検診の優先度を考える指標になります。

むしろ、年齢による人口構成の影響を取り除いた年齢調整がん死亡率・罹患率は、男性は1990年代後半から、女性では同年代前半をピークに減少傾向にあります(ただし乳がんは増加傾向)。このような減少傾向は世界的に見られますが、日本では近年、罹患率の減少より死亡率の減少が大きく、医療技術の進歩が影響していると思われ

質問募集 がんに関する悩みに「徳島がん対策センター」がお答えします。質問内容を詳しく書き、住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記し、〒770-8572 徳島新聞社文化部「がん相談」係へ。紙上に住所、氏名、電話番号は掲載しません。同センターへ(電)088(638)(9438)でも平日午前8時半～午後5時に受け付けています。